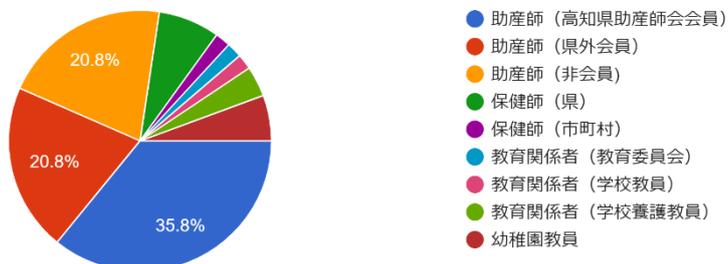


# 子どもに生きる力を～それぞれの立場で考える性教育～アンケート集計結果

令和5年5月21日 講師：松浦 賢長先生

参加者：61名中回答53名

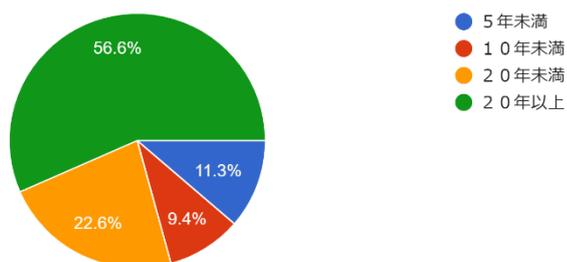
## 1. 職業



### 【内訳】

助産師 41名（県会員19名、県外会員11名、非会員11名）保健師4名（県3名市町村1名）教育関係者4名（学校教員1名、学校養護教員2名、教育委員会1名）幼稚園教員3名

## 2. 現在の職業の経験年数

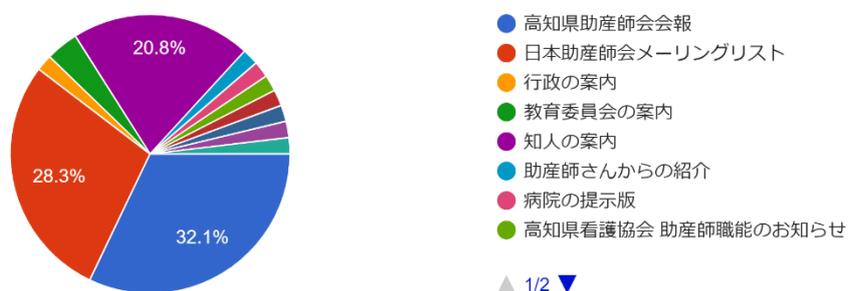


### 【内訳】

5年未満6名、10年未満5名、20年未満12名、20年以上30名

\*5年未満の方については、異動・再就職などによる年数の標記の可能性あり。

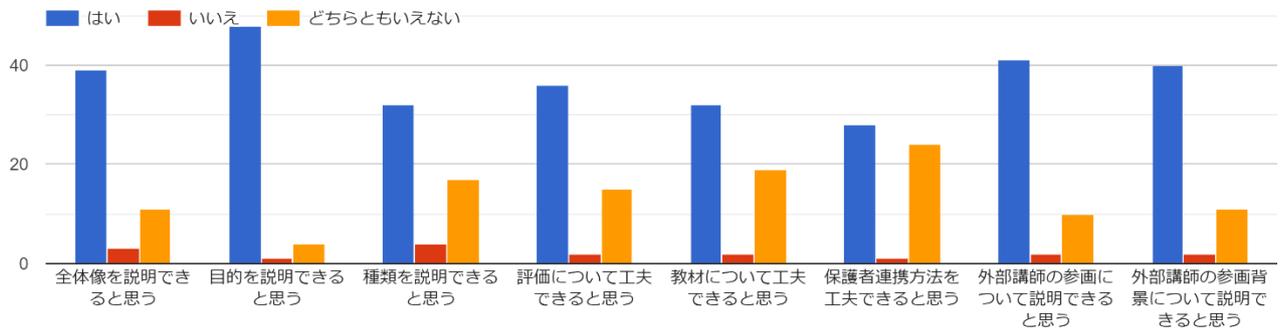
## 3. 研修会を知ったきっかけ



### 【内訳】

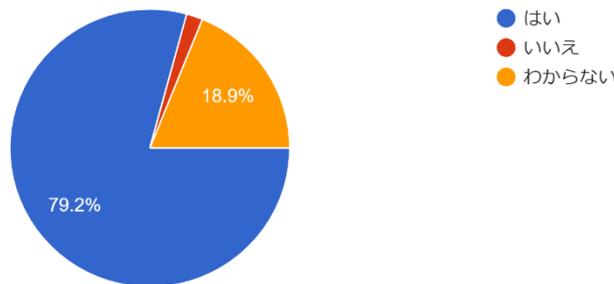
高知県助産師会 21名、日本助産師会メーリングリスト 15名、知人 11名、看護協会職能 3名、教育委員会 2名、行政 1名

1. 本日の講演会「学校における性に関する指導（性教育）について」該当するものを選択してください。



2. 今後性教育に関わっていきたいと思う。

53件の回答



【感想・ご意見】自由記載一抜粋一

（教育関係者）

・子どもたちの性に関する実態が多様となってくる中で、集団指導の限界を感じているところです。個別性や適時性を考えながら指導していくことの重要性をお話いただき、感じていた疑問にたくさんヒントをいただきました。学校側も性に関する授業については、目標設定や評価が他の教科のように充実していないので、その部分を教委としてもしっかりと学校に働きかけていき、指導内容の充実と外部講師の先生方との円滑な連携を図っていきたいと思いました。

・性教育は、時代の変化に応じたやり方を考える。そして個別指導の大切さがよくわかりました。

（保健師）

・事前と事後の評価を比較することで、一人一人の変化を把握することが重要なことだとわかった。結果が気になる生徒に関わっていくため、助産師や教員、保健師等関係機関が連携体制を作ることが必要だと思った。

・学校で行う性に関する指導について、基本のきを教えていただきました。外部講師が教えたいことを教えるのではなく、学校のニーズや子どもの実情及び適時性に合わせた内容を、学校と共に組み立ててい

くことの重要性を知ることができました。性を扱うということは、命を扱うということ。性に関する指導によって明らかとなる救うべき子どもたちを必ず支援につなげることができるよう、自分自身も勉強を重ねながら多くの方々との繋がりも広げていきたいと感じました。

・学校を理解することや外部講師の目指すところ、目標・評価の共有等学校と上手く連携していくためのヒントをたくさん教えていただきました。

### (助産師)

・以前、小中学校にいのちの教育ということでさせていただきましたが、学校の要望を理解して調整することを大切にしていたつもりでしたが、生徒からの感想文をいただいたことで満足して目標設定がこれでよかったのかなど、評価方法も考えていませんでした。今後の自分としての課題も明確になりました。

・性教育について参加したことがなく、自分の学生時代の記憶が一番新しかったので、助産師として性教育に関わっていくきっかけになったと感じました。全ての視点が新鮮で、望ましくない妊娠をする妊婦さんと関わったり、問題を持っている妊婦さんと関わっている中で、まずは学生時代の性教育が基盤となると思うので、助産師として切れ目のない支援を行っていきたいです。どのような視点で目標を立てるのか、評価をするのが明確でわかりやすかったです。

・先生のご講演内容は興味深いものでした。普段、多数の学校で開催しているので、自分たちの行っている方法も確認出来て参考になりました。ただ、運営の操作や音声の対応が不十分で、止まったり聞き取りにくいことが多々ありストレスでした。有料でされていらっしゃるし、限られた時間を対応の不備で使うことはお互い本意だと思います。今後は準備と対応を徹底して臨んでいただきたいです。

・本日の講演を拝聴し、義務教育の中の「性教育」の位置づけ、また外部講師に求められているについて知ることができ、今後助産師として教育する機会を得た時の参考になりました。現在の社会的な情勢から、求められている性教育の内容や形式が変化していることを知り、広く社会の状況を知った上で性教育を実践する必要があることを知ることができました。

・学校教育の中の助産師としての位置づけを改めて理解できました。性教育には長年関わってきておりますが、やはり時代背景と共に指導の在り方も変えていかなければならないと（適時性）痛感しましたし、これからの指導計画の参考になりました。高知県助産師会が、松浦先生と連携して取り組んでいること、とても素晴らしいです！大分県助産師会も真似したいです（笑）。

・学校側と授業目的を擦り合わせ、トランスジェンダーなど社会情勢をふまえながら授業の構成を考え、生徒が性、生を考えられる授業の実施につなげられるようにしたい。

・大変勉強になりました。やりっぱなしの性教育だけでなく評価の大切さを工夫して実施していきたいです。「生きているだけで100点満点」

・目的などは理解できたが、実際に実施するにはまだまだ内容を吟味していくことが必要な状態なので、実際の性教育のモデルのような講義形式の研修を今後考慮してほしい。

御協力ありがとうございました。

一般社団法人高知県助産師会